

● 取り組み事例（2021～2024年度）

科学技術振興

「第9回滋賀テックプランングランプリ」

2024年7月20日、滋賀県成長産業発掘・育成コンソーシアム主催の研究開発型創業支援プログラム「滋賀テックプランター」およびそのビジネスプランコンテストである「第9回滋賀テックプランングランプリ」が開催されました。

今回はReFLightの「難分解性化学物質を循環資源に変える温和な光化学反応の実現」に東洋紡賞を授与しました。



参加者の皆さま



東洋紡賞を授与

「第6回滋賀ジュニアリサーチグラント 成果発表会」

2024年1月27日、滋賀県成長産業発掘・育成コンソーシアム主催の「第6回滋賀ジュニアリサーチグラント成果発表会」が滋賀県庁（滋賀県大津市）にて開催され、当社から、審査員、研究サポーターとして参加しました。今年度からの新しい試みとして、企業からの「研究サポーター」制度が導入され、当社からも総合研究所から6人の研究サポーターが、5チームの研究に伴走しました。昨年度に引き続き、東洋紡賞を森山市立森山中学校の「琵琶湖の水草を最強の肥料として活用する」に授与しました。



受賞者の皆さまと当社関係者

出張授業・キャリア教育

明治期の紡績業を研究する筑波大学附属駒場高等学校2年生に当社社史を紹介

(東洋紡 総務部)

2023年5月16日、筑波大学附属駒場高等学校2年生の5人が本社を訪問し、総務部長が取材を受けました。同校では、「総合的な探求の時間」という授業の一環で、生徒自らがテーマを設定し、小グループで関西地域研究を行っています。訪問した5人は、「明治期の紡績業」をテーマに研究を進めており、大阪紡績会社を前身に持つ当社に関心を持ちました。当社からは、大阪紡績会社をはじめ、当社創業者の渋沢栄一の思いなどについて説明しました。



大阪市中央区綿業会館を案内している様子

小学生に楽しく学んでもらう「キャリアパスポート」出張授業（東洋紡 パッケージング事業総括部）

2022年9月14日、東京都の私立帝京大学小学校にて「プラスチックフィルムの役割と環境対応」と題して「キャリアパスポート」*の一環となる出張授業を実施しました。小学2年生24人に、当社の事業紹介とプラスチックフィルムの機能についてわかりやすく説明しました。加えて、多層で構成されたフィルムの剥離体験と異なる素材を使用したにおい漏れ実験を行い、プラスチックフィルムについて楽しく学んでもらいました。なお、10月にも箕小学校（東京）で同様の授業を行いました。

※「キャリアパスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動およびホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。



帝京大学小学校での出張授業の様子



におい漏れ実験の様子

半透膜に関わる技術と理系キャリアについての出張授業

(東洋紡 サステナビリティ推進部、環境ソリューション事業総括部、岩国機能膜工場)

2022年9月3日、神戸龍谷高等学校 特進グローバル理系コースの生徒23人を対象に、半透膜に関わる技術と理系キャリアについて出張授業を行いました。

当社の歴史や事業内容、サステナビリティの取り組みを紹介し、「半透膜による浸透現象」と題した講義では、実験器具を用いて浸透現象や半透膜の働きを解説、水の少ない地域で使用されている海水淡水化プラントや半透膜製造工程の様子を紹介しました。また生徒の皆さんには、当社の逆浸透現象体験機「アクアフムフム」を用いて、半透膜で海水から水を取り出す仕組みを体験してもらいました。後半の授業では、キャリア教育の一環として、理系分野に興味を持ったきっかけや学生生活、会社での仕事の様子や、海外での体験談などを紹介しました。



「夏休みジュニア科学教室」(東洋紡 岩国事業所)

2022年8月5日に、山口県の小中学生を招き、(公財)やまぐち産業振興財団と合同で「夏休みジュニア科学教室」を開催しました。

山口県は、理系人材を育成することを目的に、県内の大学や企業に依頼して科学の面白さを体験してもらう「夏休みジュニア科学教室」を県内各所で開催しており、岩国事業所もこれに賛同して本教室を行いました。

定員を超える多くの応募がありましたが、当日は小中学生19人と保護者の方が参加しました。半透膜を使った浸透の実験体験では、講師、子どもたち、保護者が互いに協力しながら実験を進め、会場が一体となっていました。



放課後等デイサービス 出前授業 (東洋紡 敦賀事業所)

2021年8月20日、放課後等デイサービス「こども発達支援ルームがらす up」(福井県敦賀市)にて出前授業を行いました。今回の授業は、子どもたちに地元にある当社を知ってもらい、「働く」ということについて考えてもらいました。

事業所の概況を説明、三次元網状繊維構造体「プレスエア®」の銘柄を当てるクイズを実施しました。子どもたちは、硬さの異なる四つのクッションの中から、配布したサンプルと同じものを当てるため、触ったり座ったりしてその違いを比べていました。



福井県立敦賀高校 PCR 検査の実験実習に関する出張授業

(東洋紡 敦賀事業所)

2021年7月19日、福井県立敦賀高等学校の2年生33人を対象にPCR検査の実験実習を行いました。新型コロナウイルスの診断に使用されるPCR検査がどのようなものであるかを生徒の皆さんに体験していただき、医学や薬学に対する関心を高めてもらうことを目的としました。PCR検査の仕組みについて講義を行った後、八つのグループに分かれて実際にその検査手順を体験しました。生徒の皆さんは、細かい作業に苦戦しながらも、真剣な表情で実験に取り組んでいました。今回の実習は、バイオテクノロジー分野に興味を持っていただく良い機会となりました。



企業見学会・職場体験

敦賀商工会議所主催「まちゼミ」事業所見学会（2021年度も実施）

(東洋紡 敦賀事業所)

2023年3月3日、敦賀商工会議所が主催する「まちゼミ」※を通じて工場見学会を行いました。

今回は、敦賀市在住の一般の方13人の参加がありました。事業所の概況説明をした後、展示室、つるがフィルム工場、事業所構内を歩いて見学しました。

参加者からは、「敦賀事業所で作っているものが身近な製品に使われていることを知り、驚きました」という声がたくさんありました。

※「まちゼミ」とは、市内の店主や企業が講師となり、専門的な知識や情報を受講者に伝える少人数制の無料講座。講座を通じたコミュニケーションにより、事業者と地域の方との信頼関係を築くことを目的とした事業で、全国で開催されています。



敦賀高校1年生 企業見学会（東洋紡 敦賀事業所）

2022年11月1日、敦賀高校 情報経理科の1年生29人を対象に企業見学会を行いました。環境・エネルギーに関する施設での取り組みを学ぶことを目的とした見学会で、当事業所の概要に加え、事業所の自家発電や世界でのエネルギー利用について講義を行いました。なぜ当事業所では自家発電が必要なのかなど、参加された生徒の皆さんは興味深く聞いていました。



西公民館寿学級 企業見学会（東洋紡 敦賀事業所）

2022年10月11日、寿学級の51人が当事業所へ見学に来られました。寿学級とは西地区の高齢者の方を対象に開催している講座や教室のことです。

展示室と構内のバス見学を行い、製品や事業所の規模を知っていただくことができました。長く敦賀にお住まいの皆さんですが、「今まで何を作っているのかよく知らなかったが、今回知ることができた」という声も聞かれました。



私立高岡第一高等学校 企業見学会（東洋紡 富山事業所）

2021年12月16日、私立高岡第一高等学校の1年生17人が、同校のキャリア教育の一環で庄川工場を訪れました。富山事業所総務部長からの歓迎のあいさつの後、会社、事業所・工場概況を説明し、工場、展示室の見学を実施しました。展示室では、中東諸国の民族衣装「トーブ」や、スポーツウエアなどさまざまな用途に当社素材が使用されていること、同じ繊維であっても素材によって質感や機能が異なることなどを説明しました。紡織製造部では糸から布地加工され、加工製造部では布地が染色などのいろいろな工程を経て製品となる様子を見学しました。



ソリューションの提供

福井テレビ「はじめてばこ」プロジェクトへ協賛

（東洋紡 敦賀事業所）

2021年から、福井テレビの企画「はじめてばこ」プロジェクトに敦賀事業所として協賛しています。「はじめてばこ」プロジェクトは、生まれてくるすべての子どもたちを祝福するプロジェクトです。「10年後、20年後も大切にしたいくなる、特別な箱」を赤ちゃんの生まれたご家庭にプレゼントするもので、広島からスタートし全国に広がりを見せています。

当社は「はじめてばこ」に同梱できる協賛企業商品として、当社ポリエステルフィルム「オリエステル®」使用の「においバイバイ袋®」を提供しています。

（参考）[においバイバイ袋](#)



その他

災害用備蓄品を「ふーどばんく OSAKA」に寄付（（株）東洋紡カンキョーテクノ）

東洋紡カンキョーテクノでは、大阪、東京、岡山 3 拠点で保管している災害用備蓄品を「認定 NPO 法人 ふーどばんく OSAKA」に寄付しました。この活動は 2020 年度に計画を開始し、2021 年度に 3 回に分けて実施しました。毎年各拠点で備蓄品について数量・賞味期限の確認をし、その中から賞味期限 3 カ月前を目安に寄付を行っています。東洋紡カンキョーテクノは、2019 年に「ISO14001」を取得したのをきっかけに、環境安全活動の中期計画を作成しています。その中で社会貢献として何ができるかを毎年検討しており、今後も災害用備蓄品の寄付を続けていきます。

